「授業準備」実践例より

|  |
| --- |
| **具体的目標の実施計画表** |
| 1　教える行動を決めましょう |
| 授業が終わったら，次の授業の準備をしよう |
| 2　児童に伝える：「この行動を学ぶ理由」を考えましょう |
| ・チャイムと同時に始まり，チャイムと同時に終わる。→休み時間の確保もできるから。・忘れ物に気付くことができ，休み時間中に借りにいくことができるから。・自分が授業中，困らないから。 |
| 3 具体的な行動モデルを示しましょう |
| 良い例 | 悪い例 |
| ・鉛筆1本，赤鉛筆1本，けしゴム，定規（朝），ノート，本，下じき（前時の教科書等を片付け，次時の教科書等）を出す。・早く授業を終わることができる。 | ・準備ができておらず，探し物をして授業に遅れる。・チャイムが鳴っても，授業が終わらない。＊悪い例は，児童が演じずに教師が演じる。 |
| 4 実際に練習するための具体的な計画を立てましょう |
| （1）何も言わずに休み時間に突入。→チャイムが鳴り，着席。→自分の準備の状況を知る。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　クラス　（2）チャイムが鳴ってから，授業時間までにかかる時間をはかる。（3）どうしてこの行動が必要だと思うのか尋ねる。（4）悪い例を教師がロールプレイ。どこが悪かったか児童に，発言をさせる→板書丸つけ場面→　・忘れ物がある　　　　　　　・机の上は，前の授業のまま　　　　　　　・赤ペンがなくて，あたふた　　　　　　　・となりの人にかしてー　　　　　　　・どんどん授業が進んでいく（5）良い例をみんなでやってみよう。･･･悪い例で出たもの，1つずつについて良い例を考え，行動をさせる（6）フィードバック･･･業間をはさんで，3校時にできているかをチェック。→となり同士で声をかけ合いチェックをさせる。 |
| 5 期待される行動の手がかりを作成しましょう |
| ・テレビに，「学びのてびき」（授業準備の方法を具体的に明記したもの）を映す。・月に1回程度全校で「学びのてびき」を用いて確認する日を認定する。　「“準備しようデー”」，「“ふりかえりデー”」など。・黒板に「準備OK？」等の合言葉を貼る（休みじかん）・できたらポイントをもらえるようにする。　→みんなが準備できていたら，はなまる1つをもらえる。（児童が見ることができる所に貼っておく）→はなまるは○個たまったら，ごほうびをもらえるようにする。・隣同士で，きちんと準備ができているかをチェックし合う。 |
| 6 児童が自ら取り組む行動について計画しましょう |
| ・連絡帳を見て，ランドセルに入れたものには，自分で丸をつけてチェックする。・家で毎日，鉛筆（5本）をけずってくる。→できていたらごほうび |
| 7 児童の行動変容を記録する方法を計画しましょう |
| いつ：業間後の3校時頻度：（クラスで時間割を考慮した上で）週2回方法：となり同士ペアで確認又は挙手をしてもらう。　　　何人できていたかの人数記録　　　行動A：すべてできた　　行動B：忘れ物はあるが対処できている，申し出ている　　　行動C：忘れ物はないが，準備できていない　　　行動D：忘れ物をしていて，準備もできていない☆ふでばこチェック･･･中身の確認をする「学びのてびき」で確認する日に一緒にする |
| 8 望ましい行動に対する「ほめ方」を計画しましょう |
| ・できた人数をポイントとして記録していく・目標数値○ポイントが達成できたときに，ごほうびを出す。・準備ができている　忘れ物がない　　　　　　　から，気持ちよく学習できるね!とほめる。　鉛筆がけずれている |